

地域課題・目指す将来像

地域
課題

- 子育て世帯は、**時間的な余裕のなさ**から、経済的、精神的など様々な負担を感じている。特に共働き世帯にとって、平日の夕方が忙しい時間帯になっており、**子どもと一緒にゆっくり過ごす等のゆとりがないことが推察される。**
- 民間の子育て支援サービス等の活用を含めて**社会全体で子育てを支援する仕組みが求められている。**一方、これらの外部サービスは「心理的」「時間的」「距離的」アクセスの壁により、一般的な普及には至っていない。

将来像

- 「子育ては親だけがやるもの」という考え方から脱却し、**子育ての社会化を進める。**
- 民間活力の導入とデジタルガバメント推進の両面から子育てしやすいするためのサービスを充実させ、「**子育て世帯がずっと住み続けたい**」と思うまちを実現する。

推進体制

名称：豊中市未来技術地域実装協議会

地方公共団体	豊中市、大阪府
国（★は現地支援責任者）	★内閣府（地方創生推進事務局）、デジタル庁（戦略・組織グループAI班）、こども家庭庁（長官官房総務課）、内閣官房（デジタル田園都市国家構想実現会議事務局）
民間事業者（調整中）	メディア事業者、保育・介護サービス事業者、交通サービス事業者ほか

課題解決に向けた取組

（図：豊中市提供）

子育て支援サービスのポータルサイトを構築し、生成AIを活用することで、「子育て世帯×サービス」のマッチング支援、「人材×事業者」のマッチング支援を実施

⇒社会全体で子育てを支援する仕組みの実現

①事業者参入支援【AI（生成AI）】

- ・ 子育て支援サービスプラットフォームの構築（生成AIチャットボットの実装）
- ・ ポータルサイトを通じた情報の一元化

②利用支援【AI（生成AI）】

- ・ 生成AIによる子育て相談、子育て支援サービスのマッチング
- ・ 利用にあたってのインセンティブ付与（マチカネポイントの活用）

③人材養成支援【AI（生成AI）】

- ・ 子育て支援員の育成（子育て支援サービス事業者に配置）
- ・ 生成AIによる人材と事業者のマッチング

